

平成 29 年度 社会福祉法人あま福社会事業報告（法人本部）

1. 理事会の開催状況 6 回開催

理事定数 7 名 監事定数 2 名			
開催年月日	出席者数	欠席者数	内 容
H29.05.24	理事 7名 監事 2名		(報告事項) 1 厨房機器リース契約について（理事長専決事項） 2 理事・監事の選任について (審議事項) 1 平成 28 年度事業報告について 2 平成 28 年度収支決算について 3 監査報告について 4 評議員会の開催について 5 自家用車通勤管理規定の一部改訂（案）について 6 電動ベッドの購入について 7 特別手当（6月30日）支給（案）について 8 その他
H29.06.13	理事 7名 監事 2名		(審議事項) 1 理事長の互選について 2 その他
H29.08.29	理事 7名 監事 2名		(報告事項) 1 理事長職務の執行状況について 2 事業の進捗状況について 3 労働基準監督署の臨検について (審議事項) 1 平成 29 年度第 1 次補正予算（案）について 2 その他
H29.11.20	理事 7名 監事 2名		(報告事項) 1 理事長職務の執行状況について 2 事業の進捗状況について (審議事項) 1 特別手当（12月10日）支給（案）について 2 その他
H30.02.13	理事 6名 監事 2名	理事 1名	(報告事項) 1 処遇改善加算について 2 事業の進捗状況について (審議事項) 1 平成 29 年度第 2 次補正予算（案）について 2 給与規定の改訂（案）について 3 その他
H30.03.26	理事 7名 監事 2名		(報告事項) 1 理事長専決事項について 2 理事長職務執行状況について 3 平成 30 年度介護報酬改定について (審議事項) 1 平成 29 年度第 3 次補正予算（案）について 2 平成 30 年度事業計画（案）について 3 平成 30 年度資金収支予算（案）について 4 給与規程の一部改訂（案）について 5 経理規程の一部改定（案）について 6 無期雇用職員登用規程の一部改定（案）について

		7 理事長報酬について 8 その他
--	--	----------------------

2. 評議員会の開催状況

評議員定数 8名			
開催年月日	出席者数	欠席者数	内 容
H29.06.13	評議員 8名 理事長 1名 監事 2名 事務局 1名	なし	(報告事項) 1 平成28年度事業報告について (審議事項) 1 平成28年度計算書類及び財産目録の承認について 2 理事及び監事の選任の承認について 3 役員及び評議員の費用弁償規定の承認について 4 理事長費用弁償規定の承認について

3. 役員研修会等派遣状況

研修会名	期日	場 所	出 席 者
社会福祉法人役員研修	H29.06.27	海士町	村上理事 宇野理事 石塚監事 森井監事
社会福祉法人監事研修	H29.12.06	松江市	石塚監事 森井監事 欠航のため欠席
社会福祉法人役員セミナー	H30.03.05	松江市	細川理事 美濃理事

4. 法人の重点施策

引き続き、職員満足の実現に向け、誰もが働きやすい、働き続けられる職場づくり（魅力ある職場づくり）に重点をおき、取組みを進めてきた。

(1) 職員満足実現の推進

処遇面では、職員が満足できるようにといった視点で改善を行ってきた。主に介護の間接業務を担う職員については、時間帯や休みなどの働き方に柔軟な対応をすることで、働きやすい環境となっている。また、介護の直接業務に携わる職員についても、パートタイムや働き方に柔軟な対応を行っている。一方で、全てのシフトに対応できる職員の絶対数が足りないことから、主となり介護業務に携わっている、介護福祉士を含む介護職員については、専門性の発揮がしづらい環境にある。そのことから、仕事のやりがいや、魅力につながっていない。

そういった中、29年度は一人の退職者もなく、8名の職員（5名の1ターン。うち新卒介護福祉士1名、介護経験者2名）を確保できたことは一定の評価ができると言える。

夜勤勤務の負担軽減やICTの活用など、まだ多くの課題が残っている。今後も職員満足の実現に向け取組みを継続していく必要がある。

(2) 事業運営の見直し

職員不足、短期入所利用の実質的な需要の少なさ（11人と制限しているものの月平均利用6～7名）、グループホームの利用について、低所得者への負担軽減がなく、利用されづらいことから、経営の安定と職員の業務負担の軽減を図るため、第一四半期までのところで、グループホームの一時休止について、検討をおこなった。

主要職員からも意見を聴き、理事会で検討した結果、職員の確保ができたこと、一度休止した事業を再開することが困難なこと、利用者や家族に負担と不安を与えてしまうことと、今後の地域資源としての認知症対応型グループホームの重要性などを理由に見送ることとした。

認知症施策が推進される中、サービスとして利用しにくい（負担軽減がなく高額）、認知症対応型グループホームを低所得者層にも利用されやすいサービスとしていくために行政に働きかけること、隠岐地区で介護保険の認定者数が減少している現状があり、隠岐地区全体でサービス利用の減少や入所待

機者の減少または、入所待機者がおらず、数ヶ月に渡り空床が続くといったような現象も見られるが、2025年に向け、短期入所を含めた、介護サービスの利用需要が高まってくると思われるので、体制を整えることが重要である。

(3) 中長期修繕計画の策定

大型空調機（2000年から2004年設置）については、28年度のところで試算を行い、更新に約15,000,000円の費用が必要になることが明らかとなった。建物などについての計画は、まだ具体的なものとなっていないが、来年度第一四半期までのところで、空調機の更新計画とあわせて、具体的な取りまとめを行う。

30年度介護報酬改定で、小規模特養は大幅なマイナス改定となり、33年度改定でも更なるマイナス改定となることが予想される。収入が減少する中、コスト削減のための設備投資も視野に入れ、計画的、効率的に必要な修繕を行っていくことが必要となり、必要な資金調達を、町と連携を図りながら検討することも必要となってくる。

【今後の課題として】

福祉、介護分野だけではなく、全産業的に人材不足となっている現在、人材は枯渇するといったことを念頭に置く必要があると思われる。

その反面、高齢になっても働きたい、毎日は難しいが週に2～3日、フルタイムは難しいが、数時間なら働きたい。といったような働き方を望む人々もいることも確かで、実際に問合せがある。

また、資格を持っているがフルタイムでは働けないので、パートタイム的に働きたいといった専門職もいる。以前、介護業務・厨房業務を全て分解し、直接業務（専門性が高い）と間接業務（専門性が低い）にわけ、それぞれを時系列で整理し、1日の仕事を組立てる取組みを行った。この取組みを今一度整理し、様々な働き方ができることを発信し、人材を確保していくことが重要だと思われる。この取組みがうまく回れば、専門性の高い業務をおこなう職員のやりがいにつながるとともに、負担の軽減につながると考えている。専門性の高い業務を担う職員の働きやすさや、やりがいにつながれば、専門職の確保もしやすくなると考えている。

また、人に変わってできる場所は、ICTや介護ロボットを活用し、人の負担を減らしていくことも、人材不足を補うことになるので、補助金や助成などを利用し、推進していきたい。

次世代人材の育成を進めていくことが急務。人事考課制度を導入した理由のひとつには、次世代人材の育成がある。あま福祉会が導入した人事考課制度は、人材育成視点であり、育成メインの人事考課である。OJTや面談をとおして、組織のアイデンティティやDNAを継承していくための人事考課である。焦ることなく、着実に次世代の育成を行うことが急務である。

働く人材も少なくなっていくのと同じように、将来的にはサービス利用者も減少してくる。在宅生活継続支援といった視点も必要となってくる。この何度かの改定を見ていると、施設職員の専従緩和であるとか、入所者の外泊時に、施設職員が在宅サービスを提供した場合の加算算定であるとか。これは、地域包括ケアシステムの考え方「道路が廊下」「家が居室」とみても、専門職が地域に出向き、在宅生活を支えるといったことへの布石ではないかと考えている。自宅で最期を迎えたい、できればサービスを利用したくないといった、ある意味当たり前の思いを実現できるよう、在宅生活継続支援といった視点で、事業を見直していくことも必要となってくると思われる。

5. 職員の退職・採用状況

(退職)

平成29年度は、退職者なし。

(採用)

氏名	職種	採用年月日	備考
紺野敏明	臨時介護職員	H29.04.21	未経験・1ターン
桑原千尋	介護福祉士	H29.05.01	新卒・1ターン

亀原雄二	臨時厨房職員	H29.05.01	調理師
前田篤子	臨時厨房職員	H29.05.21	
桑原加奈枝	GH臨時介護職員	H29.07.01	介護経験者
中野 翔	臨時介護職員	H29.07.01	未経験・1ターン
梅田和美	臨時介護職員	H30.01.05	未経験
小野木大悟	臨時介護職員	H29.07.01	地域おこし協力隊（町からの出向）

6. 情報開示

区 分	期 日	内 容
GH外部評価	H30年5月中	(評価機関) NPO しまね介護ネット <ul style="list-style-type: none"> ・GHサービスの評価 ・評価結果をインターネット上で公開
H28年度決算諸表等の開示	H29.06.01 ～ H30.03.31	(決算諸表等の開示) 事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支計算書 監事の監査報告書 (開示の方法) 事務所横廊下の掲示板へ掲示及び事務所へ供え置き閲覧に供した。 自法人ホームページ上で公表